

公共工事における 木材利用推進プロジェクト



現状・課題

- 和歌山県の県土面積の約 8 割を占める森林は、県土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、地球温暖化の防止等の多くの機能を有しており、これらの機能が持続的に発揮されることが重要。
- 木材の需要を拡大することは、林業・木材産業の持続性を高め、森林の適正な整備、森林の有する機能の持続的な発揮に資する。
- 木材は、長時間に渡って炭素を貯蔵できることや製造時のエネルギー消費が少ないことから、利用の拡大は脱炭素社会の実現に寄与する。
- 公共工事などにおいて、木材を積極的に利用するための取組が必要。

取組

公共工事において木材利用を推進することで、温室効果ガス排出量を抑制し、脱炭素化を図ります

●公共土木工事における木材利用の推進

- ・土木用資材及び公共施設の工作物等での木材利用を推進するとともに、周辺環境との調和などを考慮する必要がある工事では木材の利用に努めます。
- ・使用する木材は紀州材とします。

●公共建築物における木材利用の推進

- ・低層の公共建築物については、原則木造とします。
- ・木造建築物の構造材については、原則紀州材とし、他材と費用比較し一定の範囲内であれば、紀州材を優先的に使用します。

寄附金の使途

公共土木工事及び公共建築物における木材の利用 等